

# 漁海況情報第4報 (2024年9月11日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。



## 1. 海況

### 黒潮続流は宮城県から遠ざかる様に北東方向へ流れています。

黒潮続流は現在、宮城県東沖約200kmを北上しその北端は岩手県沖に達していると思われます。宮城県への直接の影響は無くなりましたが、依然として不安定な流れとなっていますので、今後も動向に注意が必要です。

親潮第一分枝については、前年よりは優勢ですが、八戸沖の暖水塊と津軽暖流に阻まれ三陸沿岸へ南下しにくい状況となっています。

宮城県沿岸の表面水温は、気温の低下が見られたことから先月よりも概ね2℃程度の低下が見られました。

10m深の水温は表面よりも1℃程度低めですが、仙台湾奥部では表面水温とほとんど変わりません。

100m深水温は、10～15℃の範囲にありますが、南側で低く、北側で沖から津軽暖流と思われる暖水の影響を受け高くなっています。

鉛直断面を見ると海面から海底にかけて徐々に水温が低下しており、暖水や冷水の張り出しは見られていません。

定置水温は気温の低下とともに低下し始めました。

詳細は次頁以降をご覧ください。

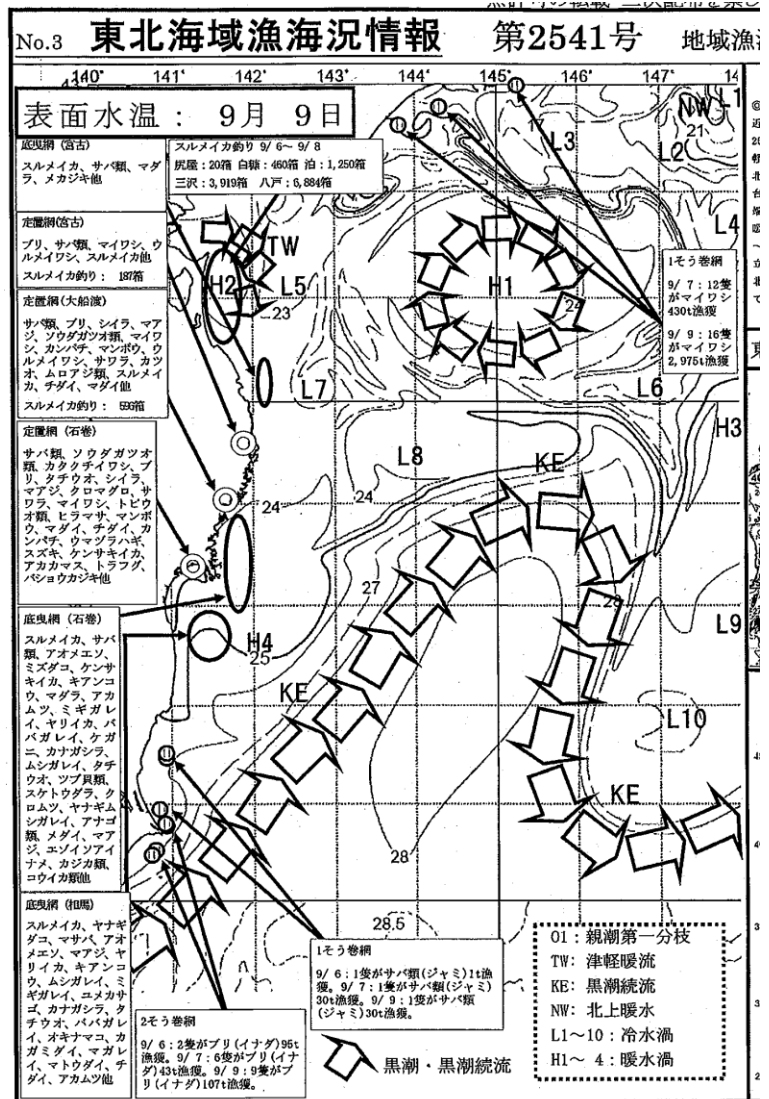
## 2. 漁況

### 沖合底曳網漁が始まりました。

沖合底曳網漁が7～8月の休漁を終え再開しました。

台風10号の影響により初水揚げは9月4日となりましたが、スルメイカやマサバを中心に約120トンの水揚げがありました。

魚種	水揚量 (t)
スルメイカ	72.5
マサバ	26.5
アオメエソ	7.9
ミズダコ	2.7
その他	13.0



## 東北海域魚海況情報より抜粋

漁業情報サービスセンター9月10日発行

## 表面水温分布状況

表面水温（図1）は概ね23～25℃の範囲で朝晩の気温の低下等により、先月よりも2℃程度低下しています。

平年（過去30年平均）との比較（図2）では、1～2℃高めとなっていますが、仙台湾を中心に1～4℃程前年同時期よりも低くなっています（図3）。とくに南側でその傾向は強くなっています。

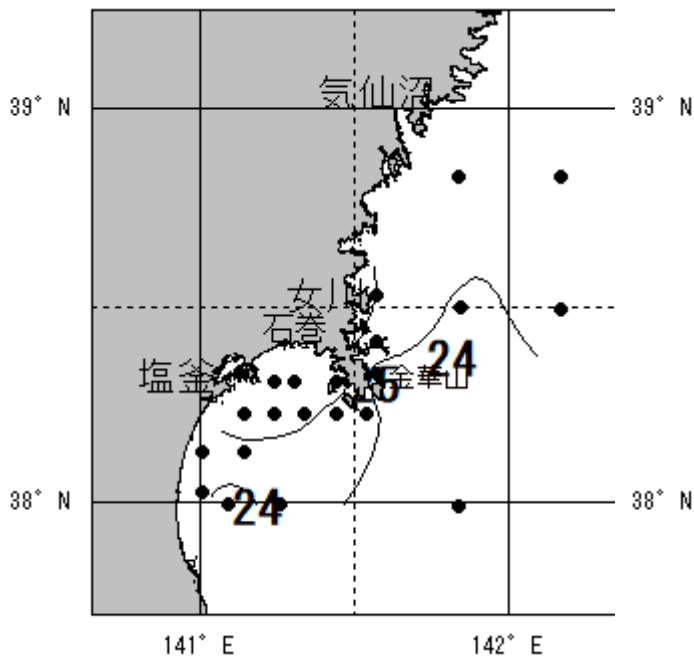


図1 表面水温分布図  
(2024年9月5日～9月9日)

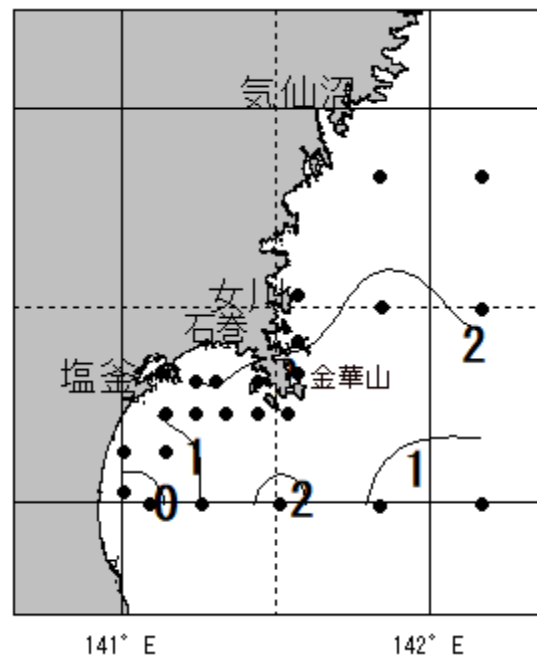


図2 表面水温平年偏差図  
(2024年9月5日～9月9日)

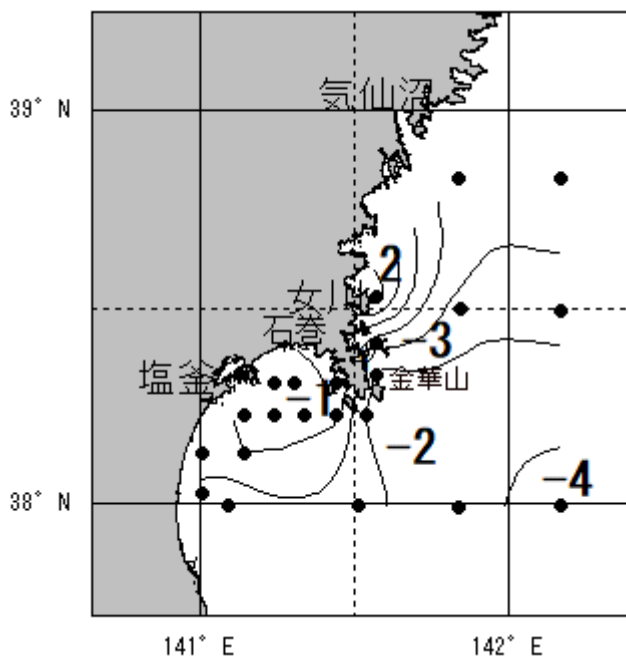


図3 表面水温前年偏差図  
(2024年9月5日～9月9日)

# 10m深水温分布状況

本報から新たに水深10m層の水温分布図を追加しました。

表面水温に比べ1℃程度低めです(図4)が、猛暑の影響を受け平年より1~3℃程度高くなっています(図5)。特に仙台湾奥の松島~石巻にかけては3℃以上高くなっています。

昨年同時期と比べると全体的には1~3℃程度低くなっていますが、仙台湾奥や県北部沿岸では同程度となっています(図6)。

朝晩の気温は低下してきましたが、10m深まで冷えるのにはもう少し時間が掛るようです。

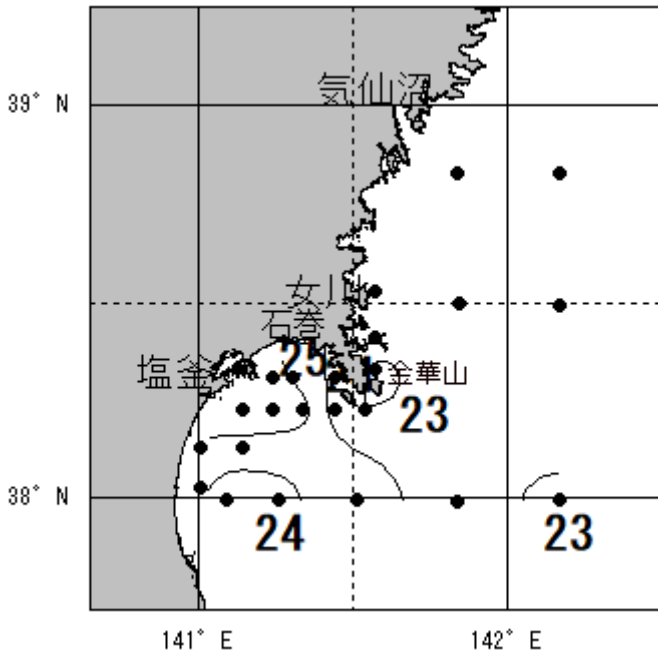


図4 10m水温分布図  
(2024年9月5日~9月9日)

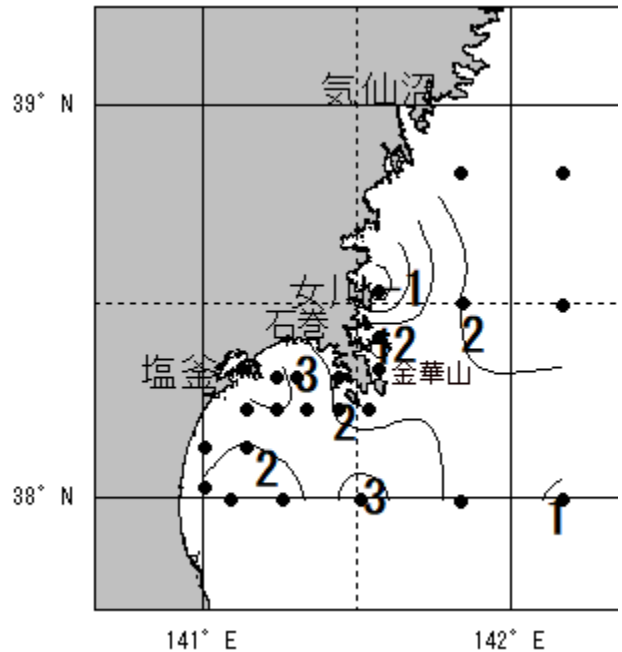


図5 10m水温平年偏差図  
(2024年9月5日~9月9日)

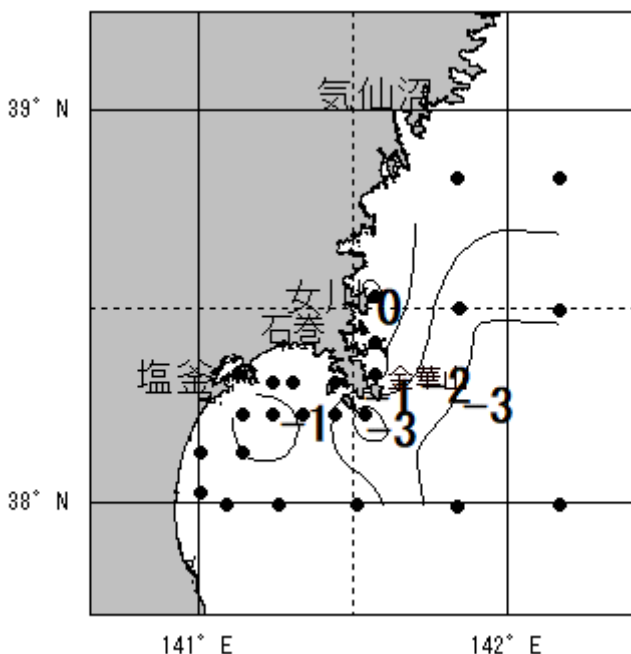


図6 10m前年偏差図  
(2024年9月5日~9月9日)

## 100m深水温分布状況

親潮や黒潮続流，暖水塊等の波及の目安となる100m深水温を見ると概ね10～15℃程度ですが，南側で低く北側で高い傾向が見られました。

平年と比べても南側は平年並みですが，北側で最大6℃高くなっていました。

昨年同期比でも同様の傾向が見られ南側は最大4℃低いのに対し，北側は最大4℃高い海域が見られました。

この原因としては，県北部では津軽暖流由来と思われる暖水に覆われているのに対し，県南部では黒潮続流より沿岸よりを南下する冷水の影響を受けているためだと思われます。

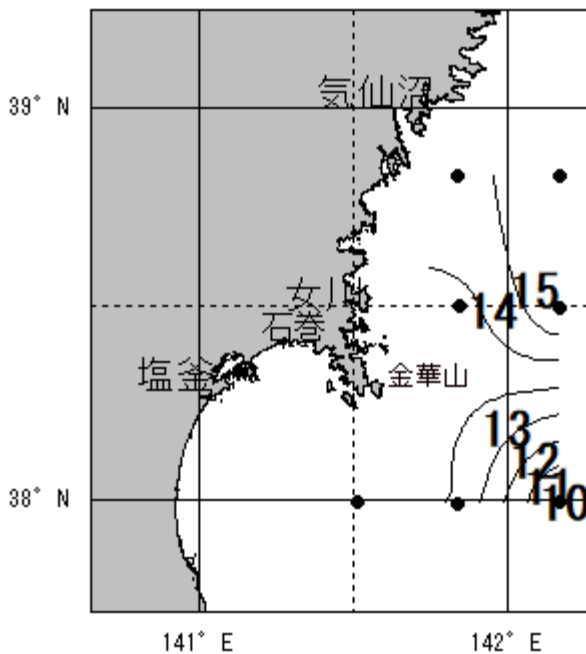


図7 100m水温分布図  
(2024年9月5日～9月9日)

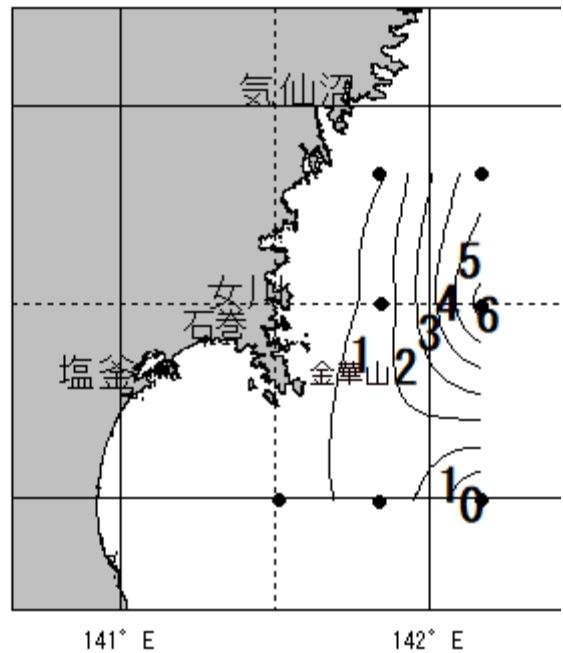


図8 100m平年偏差図  
(2024年9月5日～9月9日)

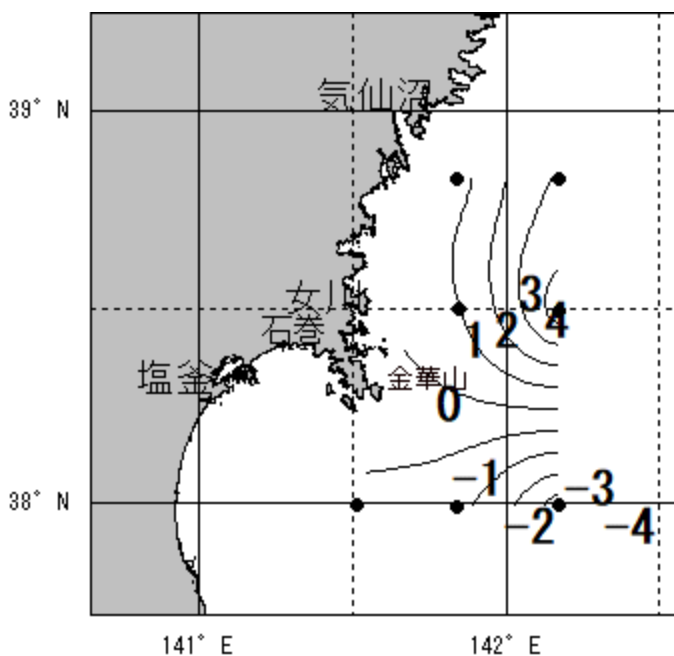


図9 100m前年偏差図  
(2024年9月5日～9月9日)

## 海底直上及び鉛直断面水温分布状況

猛暑の影響を受け海面から温められているため、水温は水深に応じ徐々に低下していきます（図11, 12, 13）。そのため水深が浅い仙台湾内では海底でも20℃を超える海域が広く見られます（図10）。

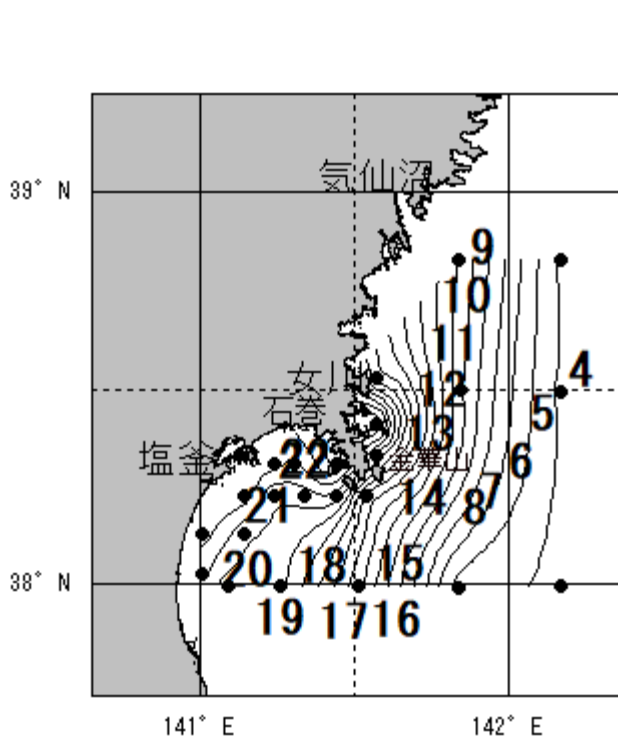


図10 海底直上水温分布図  
(2024年9月5日～9月9日)

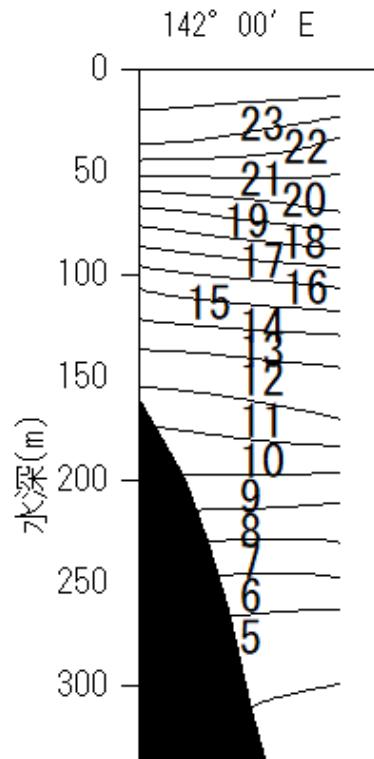


図11 水温鉛直断面図（北緯38度50分）  
(2024年9月5日～9月9日)

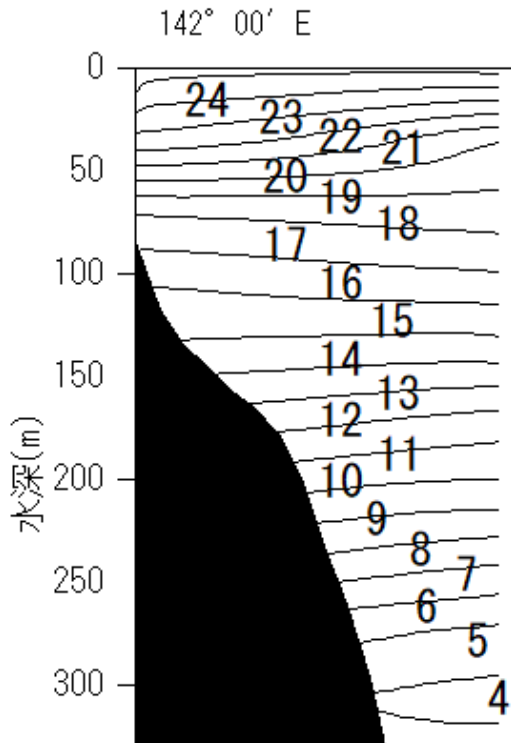


図12 水温鉛直断面図（北緯38度30分）  
(2024年9月5日～9月9日)

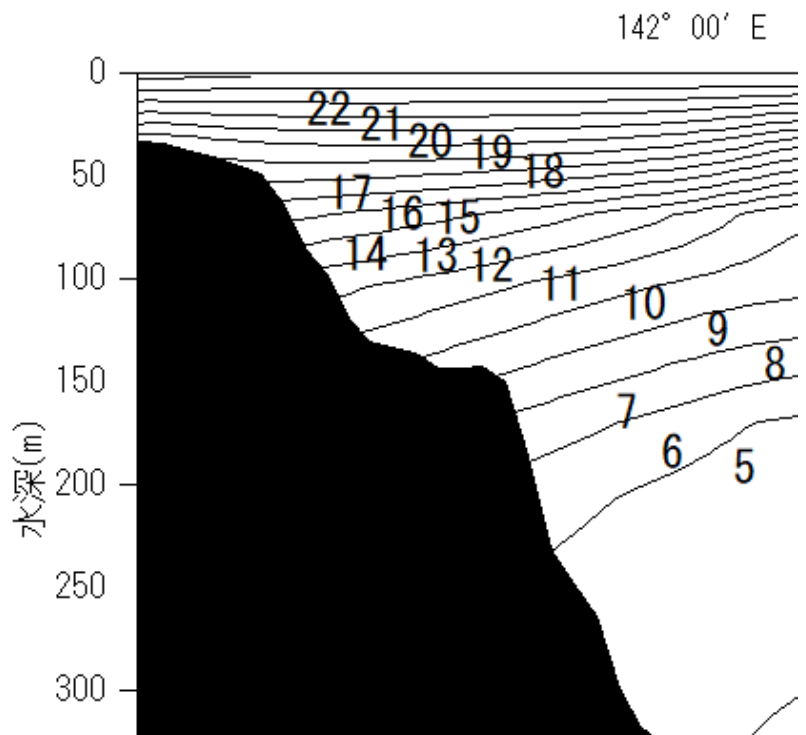


図13 水温鉛直断面図（北緯38度00分）  
(2024年9月5日～9月9日)

## 定置観測水温の状況

定置観測水温は何れも平年値よりは高いものの、昨年よりは低く推移しています。また、朝晩の気温の低下とともに、水温も低下傾向が見られ始めています。

観測場所	9月下旬		平年差	前年差
	水温	状況		
気仙沼（杉ノ下）	25.0	極めて高め	2.8	-1.1
歌津	—	—	—	—
江島	23.6	高め	1.6	-2.6
田代島	25.8	高め	2.2	-1.2
佐須浜	26.3	高め	2.3	-1.0
桂島	26.8	やや高め	1.4	-1.4
巨理	25.3	やや高め	2.1	-0.7



### みやぎ水産NAVI

下記のグラフや日々の水温を見ることができます。

※—：メンテナンス中

